

平成 22 年度見学会の開催

22 年度の見学会は、平成 22 年 10 月 21 日（木）に 55 名の参加のもと、神戸出発と姫路出発の 2 台のバスにより実施しました。

今回は、日本環境安全事業株式会社大阪事業所大阪 PCB 廃棄物処理施設（大阪市此花区）と株式会社リバース本社工場（泉南市）を訪問しました。

午前 10 時～11 時 30 分

午前 10 時に日本環境安全事業株式会社（JESCO）大阪事業所大阪 PCB 廃棄物処理施設に到着し、事業概要の説明の後、施設見学を行いました。

過去に様々な社会問題を引き起こした PCB の処理、この PCB の処理施設を見学することについては、私共、産業廃棄物処理業者と言え、環境保全を目的とした事業を行っている者として、何か感慨深いものを感じられたと思います。

処理工程としては、トランス類からの抜油から始まり、抜油した PCB 油の分解処理、抜油した後に残った容器の洗浄・解体・分別、最後に分解物の PCB 濃度分析からなっています。

これら処理工程を見学し、ご説明いただく中で、各工程が、かなり丁寧に行われていることが分かりました。更にはトランス類からの抜油、容器の洗浄・解体・分別の工程が、PCB 油の分解処理工程にも増して大変なことあらためて分かりました。

PCB 廃棄物は平成 28 年までに処理することとなり、予定どおりに処理が進むことを願います。



【日本環境安全事業(株)大阪 PCB 廃棄物処理施設見学】

昼食

昼食は、堺市の「シティホテル青雲荘」であなごづくしの“あなご弁当”を楽しみました。

午後 14 時～15 時 30 分

午後 14 時に株式会社リバース本社工場に到着し、事業概要の説明の後、施設見学を行いました。

この会社は、「地球と人の環境を再生するクリエイティブ企業」とのキャッチフレーズのもと、関西屈指の 100%再生トイレットペーパー製造会社で、1日に 50 トン（トイレットペーパー換算で 50 から 55 万個）を製造しています。関西 2 府 4 県でのシェアは、再生もので 4 割とのことでした。

原料は古紙で、処理量は 70 トン/日、この 6 割は機密書類とのことでした。この機密書類の処理については、独自のシステムを採用され、他人にゆだねることなく自社の社員が封印のまま持ち込み、溶解まで見届けるシステムとの説明がありました。

製造工程は、次のように、基本的には通常の紙製造と同じです。

溶解（パルパー）→ 精選・脱墨 → 抄紙 → 巻き取り（ワインダー） → 輪切り・梱包

機密書類は無選別で溶解工程に入るため、特に精選工程にかなりのノウハウがあるように思われました。

また、この工場は「ゼロエミッション」で操業されておられます。精選工程からのプラスチック類や排水処理施設の汚泥は、燃料として、利用されているとのことでした。

将来は、工場規模を大きくして、関西一円をリバースの製品にするとの計画もお伺いいたしました。この計画に向けての益々のご発展を祈念します。



【(株)リバース本社工場見学】